

21 ワカサギ

(キュウリウオ科)

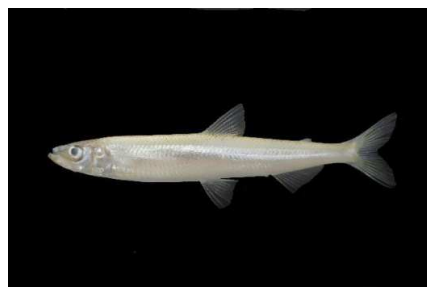
兵庫県ランク:要調査

Hypomesus nipponensis

環境省ランク:-

種の概要

全長8cm程度。河口域から内湾に生息する。汽水を主な生活場所とするが、早春に河川を遡上して産卵場に向かう。河川の下流域・湖沼から内湾にかけて分布し、淡水にとどまる個体群や降海する個体群がある。動物プランクトン食性。繁殖期は春で、岸辺の水草や木の根に卵が産みつけられる。国内の自然分布域は、太平洋側は千葉県あるいは茨城県（霞ヶ浦）以北、日本海側では島根県（宍道湖）以北の本州、及び北海道に分布する。日本の各地に移植されている。



写真提供: 庄子 恭平

県内における生息状況及びその他特記事項

自然分布地である円山川水系では、ごくまれに少数の個体が確認されている。直近では、2015年に円山川の野上地区で2個体が記録された。ただ、これらの個体が在来個体群かは不明である。瀬戸内海側の揖保川、加古川、武庫川からも記録があるが、遊漁放流に由来する個体だと考えられる。

保護上の留意点

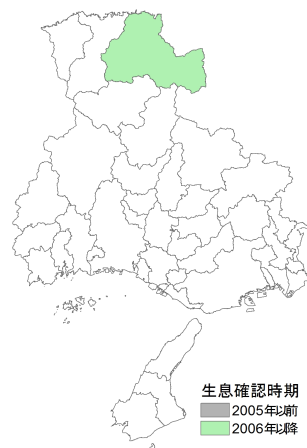
本種は日本各地に移植されている。下流域に広い汽水域を有する円山川には在来個体群が生息している可能性はあるが、実態は不明である。遺伝的な精査を含めて在来個体群かどうかを確認する必要がある。

県内分布

豊岡市

主要な選定理由

人為性	激減	○
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	○
学術性	極限	○
	限界	
	希少	○



【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励